

知事コメント

(政府によるMV-22オスプレイの安全性確認について)

本日、政府から、MV-22オスプレイに関する安全性の確認について発表がありました。

その内容については、現在精査中ですが、事故の再発防止策や運用に係る安全性について記載されており、日米両政府で一定の取り組みがなされたものと考えております。

同発表によれば、機体の安全性に特段の問題はなく、人的要因による操縦ミス等に対しては、日米合同委員会で十分な再発防止策が採られていることを確認したとされています。

しかしながら、これまで県が発した質問に対し、ほとんど回答が無く、日米地位協定に基づき航空機の運用に関する裁量が米側にある中、今回の説明をもって県民の不安が払拭されたとは考えられません。

このため、岩国における試験飛行をはじめとする、我が国におけるMV-22オスプレイの飛行運用を開始させるとしている事には納得できず、遺憾であります。

県においては、政府に対し、オスプレイの安全性に関する具体的な説明を行うこと、安全性の確認がなされ県民の不安が払拭されない限り配備を見直すことを、引き続き求めてまいります。

平成 24 年 9 月 19 日

沖縄県知事 仲井眞 弘多